

平衡デルタ支流系で抑制されるオートサイクリシティー

Suppressed autocyclic behavior of graded delta distributaries.

古林 竜治 [1]; 武藤 鉄司 [1]

Ryuji Furubayashi[1]; Tetsuji Muto[1]

[1] 長崎大・環境

[1] Environmental Studies, Nagasaki Univ.

デルタ上の活動的河川チャンネルの下流端でデルタロブが発達し、その埋積が上流側に伝播することでチャンネルはより低高度の場所を新しい流路に選ぶ。この過程を繰り返すことで河川チャンネルはオートサイクリックな側方移動を続けると理解されている。この理解が正しいとすると、デルタロブの埋積が起こらない条件下、たとえばデルタ上の沖積河川が土砂のバイパス系（平衡河川系）であるような条件下では、チャンネルのオートサイクリックな側方移動は著しく抑制されるはずである。この予想を小規模水路実験で検証した。停滞海水準のもと河川デルタが段差より沖側へ移動できない地形的制約を設けておくことによって準平衡河川を実現させ、そのチャンネルの挙動を調べる実験をおこなった。その結果、従来の理解を支持する結果が得られた。すなわち、準平衡状態に到達した沖積河川系では活動的チャンネルのオートサイクリックな側方移動が抑制され、チャンネルはその流路をほとんど変えない。